

子育て支援型マネジメント研修・保育体験研修 はぐプロジェクト

参加費
無料

育休を取得する社員や多様な働き方への理解促進を目指すために、県内10市（福島市・二本松市・伊達市・須賀川市・田村市・白河市・会津若松市・喜多方市・相馬市・南相馬市）では、東京大学と連携して、子育て支援型マネジメント研修・保育体験研修「はぐプロジェクト」を開催いたします。

経営者や管理職の皆さまにとってもメリットの多い事業ですので、ぜひ参加をご検討ください。

< 研修概要 >

1. 子育て支援型マネジメント研修

- 子育て支援型マネジメントの意義や実践方法を学びます
- 所要時間：約2時間
- 実施方法：オンライン（オンデマンド）

2. 保育体験研修

- 経営者や管理職が保育施設で見学・交流を行います
- 所要時間：約半日
- 実習場所：田村市内の保育施設

保育体験：時間割（予定）

9:30	集合
9:30～10:00	保育前の説明
10:00～11:00	保育体験
11:00～12:00	園児昼食
12:00～13:00	参加者昼食
13:00～14:00	感想まとめ、アンケート記入
14:00	解散

実践的研修と保育体験で、マネジメントが変わる。 育休取得が「当たり前」の、強い組織風土へ。

2022年4月より、「産後パパ育休（出生時育児休業）」を設ける改正育児・介護休業法が施行されていますが、田村市の男性育休取得率の令和6年度実績は、8.5%と全国平均（40.5%）にとどまっています。

育休を取得しない理由として、およそ3人に1人が「職場が男性の育休取得を認めない雰囲気であること」を挙げています※1。育休取得の促進において、取得する社員と上司の相互理解を深めることが重要です。

また、育児取得が「当たり前」の職場環境には多くのメリットがあります。本事業への参加メリットは以下の通りです。

01 組織風土変革と従業員の意識変容

男性の育休取得推進に取り組んだ企業の約半数が職場の雰囲気が良くなり従業員満足度が高まったとの調査結果が報告されています※2。また、家事・育児に関わった管理職は仕事の効率化やマネジメント力向上にもつながると実感しています。従業員の声を集めるための匿名アンケートも用意しており、幅広い意見を制度改善に反映させることができます。

02 人材確保

就活生の約7割（男性も6割超）が育休実績を重視しています※3。育休取得率を公表する企業では新卒・中途採用応募者の増加が報告されており※4、育児支援に積極的な会社は「働きやすい会社」として評価されやすい傾向にあります。

育児支援が整った職場では従業員の愛着心が高まり、退職を防ぐ効果があることが各種調査で報告されています。入社から半年での早期離職者を1人防ぐと、採用・育成コストなどで数百万円の損失を抑えられるという試算があります※5。育休制度への投資は、人材確保の観点からも意義があると考えられます。

03 取組広報・助成金や認定取得

市の広報等で紹介するため、地域の先進的取組として注目され、消費者や取引先へのアピールとなります。

制度整備にあたり、国の両立支援等助成金や自治体の支援策を利用できます。育児支援に積極的な企業として「くるみん認定」などの取得を目指せば、さらなる評価向上が期待できます。

※1) 内閣府「第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

※2) 厚生労働省「令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査」報告書

※3) 厚生労働省「若年層における育児休業等取得に対する意識調査」

※4) 厚生労働省「令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査」報告書

※5) エン・ジャパン株式会社「『早期離職』に関する調査レポート2025年版」

参加要件・スケジュール

< 参加内容と協力のお願い >

- 参加期間中に、研修の受講機会があります。研修内容の検証や改善のため、実際の受講時期や内容は受講企業によって異なります。
- 費用負担はありません（無料で参加可能）。
- 3回程度のアンケート調査にご協力いただきます。オンラインでの実施を基本とします。（状況に応じて紙で実施する場合があります。）ご回答は研究目的のみに使用し、分析結果を公表する際は、個人や企業が特定されない形で取り扱います。
- 社内の従業員の皆さまにも1回程アンケートをお願いする予定です。従業員アンケートはもちろん任意ですが、多くの方にご協力をお願いいたします。

< 参加要件およびスケジュール >

- 男性育休の取得率に課題を感じている従業員数10名以上の企業
- 1社あたり2名**：社長をはじめとする管理職の方々
- 参加者本人および企業を対象とした計3回程度のアンケート調査にご協力いただける企業
- ご参加される企業は、学術的な効果検証のため、無作為にAグループ・Bグループのいずれかに割り当てられます。**座学研修と保育体験の実施時期は両グループで異なりますが、どちらのグループも必ずご参加いただけます。どちらのグループになるかは、お申し込み後に順次に決定し、ご連絡いたします。具体的な参加日程は、申し込み後に日程調整のご連絡を差し上げます。

グループ	座学研修の実施時期（予定）	保育体験の実施時期（予定）
Aグループ	2026年7月	2026年7月～2027年11月
Bグループ	2027年4月	2027年7月～10月

※ Aグループの実施時期（予定）が変更になっています。

- 2026年・2027年のどちらに割り当てられた場合でも参加可能な企業のみお申し込みいただけます。グループの選択はできかねますので、あらかじめご了承ください。

< お申し込み方法 >

下記URLまたはQRコードでお申し込みください。

<https://bit.ly/4sutk2V>



※お申込みの際は、貴社の参加者全員分をまとめてご登録ください。

申込期限 令和8年6月30日（火）

保育体験の様子（※南相馬市）



田村市



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

田村市子育てポータルサイト
にこたむ



子育て支援型マネジメント研修・保育体験研修 はぐプロジェクト

主催：福島県田村市

協力：東京大学、同志社大学

お問い合わせ先：田村市保健福祉部こども未来課

T E L : 0247-82-82-1000

メール：kodomo@city.tamura.lg.jp